

オフィシャルマニユアル (八戸インターハイ用)

はじめに

オフィシャルはゲームを運営していく上でレフェリーと同様、無くてはならない業務です。100%ミスが無くて当たり前です。各自が自覚と自信を持って望んで下さい。

- ① オフィシャルボックス内での**飲食は厳禁**です。
- ② 無駄話は止め、業務に集中しましょう。タイムボタンの押し忘れにも繋がります。
- ③ オフィシャルは**脱帽**で業務を行って下さい。(寒いとは思いますが頑張ってください)。
- ④ オフィシャルボックス内での**携帯電話等の使用は控えましょう**。

- ・ 本マニュアルは八戸インターハイ用にむけてまとめたものです。

1. 試合のながれ

◆ 準備

- ・両チームのメンバー表を受け取る。(各会場付県連盟が行う場合あり)
- ・ゲームシートを作成する(各会場付県連盟が行う場合あり)。
- ・大会規定(延長戦、ペナルティショットシュートアウトの有無、手順)の確認。
表彰の有無や進行を確認し準備をする。(準決勝・決勝のみ)
- ・オフィシャルボックスには早めに入り、各機械の調整を行う。

2. 練習開始

《ウォームアップ前》

- ・練習とゲーム用パックの準備。個数に関しては大会責任者に確認。
- ・ウォームアップ時間の確認。表示は時間をダウン(減算)表示。
- ・ミュージックの必要性を大会責任者に確認。
- ・各業務で準備・確認。但し、チーム名が表示された後は入力(得点・反則等)の練習は止めてください。⇒観客・チームが勘違いをするため。
- ・ゲーム時間の確認。

3. 試合開始

《試合開始前に》

- ・チームやレフェリー呼び出しのためのブザー(通常 2分前⇒1回 1分前⇒1回)。
- ・ゲーム時間はダウン(減算)表示。

4. 試合中の注意点

- ・得点があった場合
⇒レフェリーがボックス前へ来て口頭で指示をしてからチーム得点、ゴールアシストを掲示・表示する。できるだけ速やかに。
- ・反則があった場合
⇒レフェリーがボックス前でシグナルをしてから掲示・表示する。
できるだけ速やかに。
- ・(ゲーム中、ミュージックを流す際はアナウンスとの兼ね合いを考えて流すことゲームが止まった際、流す場合は次のフェイスオフでパックが落とされる瞬間まで可。)

5. 試合後の注意点

- ・ゲームシートは正確にできるだけ早く作成する。
- ・使用した帳票は必要性があれば全て保管しておく。大会責任者に確認。
- ・次のグループのためにも後始末・清掃をしておく。

***ゲーム中不測の事態が生じた場合は必ずブザーを鳴らし、レフェリーを呼んで確認すること。**

オフィシャルの役割

* Score Keeper (スコアキーパー)

以下の項目をオフィシャルゲームシートに記入する。

[試合前] (各会場付県連盟が行う場合あり)

- ①各選手の氏名、ポジション、背番号
- ②キャプテンに「C」 オルタネイトキャプテンには「A」を記入。
- ③試合に関する全てのデータ (試合会場、日付、ホーム及びビジターチームの名称、オフィシャルの氏名など)

[試合中]

- ①得点時、得点者及びアシストの選手 (番号)
- ②ペナルティーを科せられた選手の番号、反則の種類、時間
- ③選手の出場の有無 (出場有=Y、出場無=N)
- ④ペナルティーショットを行なったプレイヤーの氏名 (番号) と結果
- ⑤ゴールキーパーの滞氷時間
- ⑥PSS欄の記入

※スコアキーパーは以下の責任を有する。

同一選手が1試合に2つ目のミスコンダクト・ペナルティーを科せられた場合、レフェリーに通知する。

[試合後]

- ①観客入場者数を記入する (大会本部に確認)。
- ②オフィシャルゲームシートを作成し、レフェリーのサインを貰う。

* Game Time Keeper (ゲームタイムキーパー)

- ①試合前のカウントダウン (両チーム、レフェリーにブザーで予備通告をする)。
- ②操作盤に位置し、レフェリーのフェイスオフと同時にONし、レフェリーの停止の合図 (ホイッスル) でOFFする。過ちが無いように慎重に対応すること。
- ③試合及び各ピリオドの開始時刻と終了時刻をスコアキーパーに通告する。
- ④第1、2ピリオド残り1分、第3ピリオド残り2分前をアナウンサーに通告する。
- ⑤試合開始及び第2・第3ピリオドのスタート・各ピリオドのインターバルのスタートストップの計時操作をする。
- ⑥第2・第3ピリオド開始3分前に、両チーム・オフィシャルに予備通告する (自動)。

※時間に関する論争が起きた場合、レフェリーの判断を最終とする。

* Penalty Time Keeper (ペナルティータイムキーパー)

- ①ペナルティー及び得点をスコアボードに表示する。
- ②遂行したプレイヤーのペナルティータイムが正しいことを確認する。
- ③レフェリーに指示された調整を行う。
- ④ペナルティー終了10秒前をアナウンサーに通報する。

***Point Operation (得点表示)**

- ①得点したチームに点数を入力・表示する。
- ②ゴール・アシストの選手の背番号を入力・表示する。
- ③アナウンスが終了したら②を消去する。

***Goal Judge (ゴールジャッジ)**

- ①各ゴール後のゴールジャッジボックス内に配置され、試合中は同じ側のゴールを担当し、途中でゴールの交替はしない。
- ②ゴールジャッジは、パックがゴールポスト間を通り完全にゴールラインを超えたかどうかのみを判断し、その判定を適切なシグナル(ボタン)で知らせなければならない。
- ③不測の事態に備え、赤旗を準備すること。

***Penalty Bench Attendants (ペナルティベンチ アテンダント)**

- ①掲示板の不測の事態に備え、手動のストップウォッチで、ペナルティタイムを計測する。
- ②要求に応じてペナルティを科せられた選手に、残り時間を知らせる。
ペナルティタイム終了と同時にドアを開けて、選手を氷上に戻す。
- ③ゲーム用パックを用意する。

***Official announcer(アナウンス)**

- ①試合前の時間の通告及び練習の開始・選手紹介・試合開始の通告・挨拶等
- ②危険防止の場内アナウンス
- ③得点・アシストに関する事項(チーム名・選手名・背番号・時間等)
- ④ペナルティに関する事項(チーム名・選手名・背番号・反則の種類と時間等)
- ⑤ペナルティの終了
- ⑥タイムアウト
- ⑦第1・第2ピリオド残り1分前の通告
- ⑧第3ピリオド残り2分前の通告
- ⑨同日開催されている他の試合の途中経過及び結果

***Shoot Participation (シュート パーティシペーション)**

- ①チーム毎に得点及びゴールキーパーがブロックしたシュート数をカウントする。但し、ポスト及びクロスバーに当たったシュートは、ゴールへのシュートとして記録されない。
- ②各ピリオドのシュート数(チーム合計)をスコアキーパーへ報告する。

* 補助員の役割

- ・ 整氷時の補助（ゴールポストの移動・サイドの清掃）
- ・ 各チームの練習前のパック出しと、練習終了後のパックの回収
- ・ 選手控室の清掃
- ・ その他

* 補助員（ゲーム関係）業務について

公式練習時と通常のゲーム開始から終了までの業務になります。ゲーム運営に影響することがありますので、わからない場合はオフィシャルボックス内の担当者に聞いてください。

<具体的な仕事内容>

- ① ゴールの移動
- ② リンク内整備（ゲーム中の氷整備も含む）
- ③ 練習パックの出し入れ
- ④ リンク外に出たパックの回収

<ゲーム>

時 間	内 容
練習開始3分前	・ ゴールの設置 ・ 練習パックの準備
練習開始	・ 練習パックをペナルティーボックスよりそれぞれのチームへ出す
練習終了	・ 練習パックの回収（回収後は数の確認） ・ 氷上整備車の邪魔にならないようにゴールの移動 （会場によってはリンクサイドを箒で掃く場合もある）
1 P 開始前	・ ゴールの設置
ゲーム中	・ リンク外へ出たパックの回収（回収後はペナルティーボックス内の担当者に渡す） ・ リンクの不具合が生じた、出血により氷上に血が付いた等の場合のリンク整備
1 P 終了	・ 氷上整備車の邪魔にならないようにゴールの移動 （会場によってはリンクサイドを箒で掃く場合もある）
以上、2 P・3 Pと続く	
3 P 終了後、同点の場合はオフィシャルボックス内の指示による	